

彙報

宗教研究會

- 一、公開講演會 六月廿四日(土)午後二時 京大圖書館陳列室
 「佛教に於ける否定の論理」 京大助教 長 尾 雅 人
 「基督教の社會倫理の立場」 同大教授 鳥田啓一郎
 一、公開講演會 六月廿七日(火)午前九時 京大圖書館陳列室
 「基督教と民主主義」 ユニオン 神學々校教授 ジョン・ベネット 莊
 一、研究報告會 七月五日(水)午後五時 清 風 莊
 「宗教と社會の關係する諸部面」 龍大教授 棚 瀬 襄 爾
 一、研究報告會 九月十四日(木)午後五時 清 風 莊
 「社會的實踐と宗教的實踐」 龍大教授 星 野 元 豐
- この宗教研究會は次のごとき趣旨の下に昨秋十一月發足した。即ち現代、宗教に對する關心は次第に強まりつゝあるにかゝらず、われわれの多くは自身が、事實何を求めてゐるのか、今己の心に働いてゐる作用が何であるかを知らない。迷信や邪信が人々を虜とし、或は宗教的な情熱をもつて、反宗教活動に獻身したりすることゝなるのも全くその爲である。迷信と眞實の宗教、宗教そのもの發展の諸段階、宗教に於ける本質的なものと偶然的なものとの區別が判然としないと、既成宗教の一つの缺點が指摘されただけで、直ちに宗教の本質が否定されたり、迷信や未開宗教と發達した宗教とが混同せられてしまふ。この

様な状態では、たとへ學校教育に宗教心の涵養が要求されてゐても、教育者自らが、何を教育すべきかをしることが出来ない。それは將來に重大な禍ひを惹き起さざるをえないであらう。また社會的にみても今日、宗教心の混亂は甚しいが多くの人はこの事實を看過してゐる。正しい自由な社會を建設するためにわれわれは、現代社會の宗教的基礎が如何に、又如何なる方向に傾斜しつゝあるかを計量することが是非必要である。こゝに於て宗教の研究に携る者は、宗教心とその現象の質態を探り、その本質、その運動の法則をきわめ、正しい方向にその力を調整すべく努力することを今日特にその任務とすべきであらう。而もその爲めには、宗團・宗派を超越した宗教學者達の全く自由の立場よりする共同研究が是非とも必要である。この點にかんがみわれわれは近畿地區の宗教學者の協力の下に宗教共同研究の機關を設立しようと企圖した。かくて宗團・宗派に關係のない京都大學の宗教學を中心として京大吉田分校、人文科學研究所、同志社大學、龍谷大學、大谷大學、花園大學等の協力の下に本宗教研究會の發足を見たのである。

以上の主旨に沿つて、我々の共同研究のさしあたつての活動として次のことを計劃してゐる。

- (1) 現代日本諸宗教の研究
- (2) 宗教學研究雜誌の發行
- (3) 學校に於ける教育課程の爲めの宗教關係資料の提供、諸宗教の正しい解説
- (4) 學會及び講演會の開催

(5) 年報(英文)によつて、内外の關係諸機關及び諸學會との連絡

なほ最初に掲げた諸會合は今春以來の本會の活動の一部であるが、昨年度に於ては左記の如き會合が催された。

一、公開講演會(發會記念) 十一月廿六日(土) 文學部第八教室
午後一時半

「進歩と終末」 東大教授 有賀鐵太郎

「新しい世界の佛教的構想」 花大教授 久松眞一

一、研究報告會 十二月廿日(月) 午後二時 清 風 莊

「宗教と社會」 東大講師 武藤 一雄

一、公開講演會 一月廿八日(土) 午後一時半 文學部第八教室

「宗教の本質」 東大助教授 武内 義範

又本會發足以前の昨春四月より前記諸大學研究者十五名協力の下に「世界文化創造と宗教」なる共同研究がなされつゝある。

(阿部)

日本學術會議會員候補者 推薦の件

日本學術會議の第二回會員選舉が十一月十日から十二月十日までの間に行はれますが、本會は委員會の議により全國區候補者として本會委員、京大文學部教授、矢田部達郎君を適任と認めて推薦致しますから振つて御投票下さい。地方の有権者数は全國の二分の一を占めるのに、全國區の當選者数は僅かに定員の六分の一(現會員四名)に過ぎないといふことは、地方人でなくともその不均衡に驚かざるをえないでせう。そのため種々の不便が起ります。これは一つには地方から當選見込みのない候補者が亂立する結果です。矢田部君は京大文學部や近畿の諸大學からも公認されてゐるので、若し本會所屬有権者の一致した御後援があれば恐らく當選可能であらうと思はれます。哲學代表としてばかりでなく、地方代表といふ意味を含め、史學文學の御知友をも御勧誘の上同君に御投票下さらば幸甚です。

昭和二十五年十月

京都哲學會委員一同

會員各位